

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分  
 【発行日】平成 25 年 4 月 4 日 (2013.4.4)

【公開番号】特開 2011-104864 (P2011-104864A)  
 【公開日】平成 23 年 6 月 2 日 (2011.6.2)  
 【年通号数】公開・登録公報 2011-022  
 【出願番号】特願 2009-262072 (P2009-262072)  
 【国際特許分類】

**B 4 1 J 2/18 (2006.01)**

**B 4 1 J 2/185 (2006.01)**

**B 4 1 J 2/165 (2006.01)**

【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 2 R

B 4 1 J 3/04 1 0 2 H

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 2 月 15 日 (2013.2.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

シートを第 1 方向に搬送する搬送手段と、

前記第 1 方向と交差する第 2 方向に沿って複数のノズルが配列された第 1 ノズルチップが前記第 2 方向に沿って複数設けられた第 1 ノズルチップ群と、前記第 2 方向に沿って複数のノズルが配列された第 2 ノズルチップが前記第 2 方向に沿って複数設けられた第 2 ノズルチップ群を有し、前記第 1 ノズルチップ群と前記第 2 ノズルチップ群は前記第 1 方向においてずれて配置され、かつ隣接する前記第 1 ノズルチップと前記第 2 ノズルチップは前記第 2 方向において所定量ずれて配置された記録ヘッドと、を備える記録装置において、

前記第 1 ノズルチップからインクを吸引するための第 1 吸引手段と、前記第 2 ノズルチップからインクを吸引するための第 2 吸引手段を有し、前記第 2 方向に移動する吸引ホルダを備え、前記第 1 吸引手段と前記第 2 吸引手段は前記第 2 方向において前記所定量ずれて前記吸引ホルダに設けられていることを特徴とする記録装置。

【請求項 2】

前記記録ヘッドは、隣接する前記第 1 ノズルチップの一部のノズルと前記第 2 ノズルチップの一部のノズルが前記第 2 方向においてオーバーラップしていることを特徴とする請求項 1 に記載の記録装置。

【請求項 3】

前記第 1 ノズルチップの前記第 2 方向における両端部および前記第 2 ノズルチップの前記第 2 方向における両端部に封止部が設けられていることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の記録装置。

【請求項 4】

前記第 1 吸引手段及び前記第 2 吸引手段は、負圧発生手段に接続された吸引口であることを特徴とする請求項 1 ないし 3 のいずれか 1 項に記載の記録装置。

【請求項 5】

隣接する前記第 1 ノズルチップの間の距離、および隣接する前記第 2 ノズルチップの間

の距離は、前記第 2 方向における前記吸引口の長さよりも大きいことを特徴とする請求項 4 に記載の記録装置。

【請求項 6】

前記吸引ホルダが往方向に移動するときに前記負圧発生手段により前記吸引口内に発生させる負圧は、前記吸引ホルダが復方向に移動するときに発生させる負圧よりも大きいことを特徴とする請求項 4 または 5 に記載の記録装置。

【請求項 7】

前記第 1 吸引手段及び前記第 2 吸引手段は、インク吸収体であることを特徴とする請求項 1 ないし 3 のいずれか 1 項に記載の記録装置。

【請求項 8】

前記吸引ホルダは、前記記録ヘッドのノズル面に対する垂直方向の移動と前記第 1 方向を回転軸とした回転移動が可能であることを特徴とする請求項 1 ないし 7 のいずれか 1 項に記載の記録装置。

【請求項 9】

前記吸引ホルダが往方向に移動するときの移動速度は、前記吸引ホルダが復方向に移動するときの移動速度よりも小さいことを特徴とする請求項 1 ないし 8 のいずれか 1 項に記載の記録装置。

【請求項 10】

前記記録ヘッドのノズル面をワイピングするブレードを備え、該ブレードは前記吸引ホルダとともに前記第 2 方向に移動することを特徴とする請求項 1 ないし 9 のいずれか 1 項に記載の記録装置。

【請求項 11】

前記ブレードは、前記ノズル面をワイピングするワイピング位置と、前記ノズル面から退避した退避位置と、に移動可能であることを特徴とする請求項 10 に記載の記録装置。

【請求項 12】

前記ワイピング位置にあるときの前記ブレードの先端は前記吸引口の先端部よりも前記ノズル面に近く、前記退避位置にあるときの前記ブレードの先端は前記吸引口の先端部よりも前記ノズル面から遠いことを特徴とする請求項 11 に記載の記録装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明は、上記目的を達成するため、シートを第 1 方向に搬送する搬送手段と、前記第 1 方向と交差する第 2 方向に沿って複数のノズルが配列された第 1 ノズルチップが前記第 2 方向に沿って複数設けられた第 1 ノズルチップ群と、前記第 2 方向に沿って複数のノズルが配列された第 2 ノズルチップが前記第 2 方向に沿って複数設けられた第 2 ノズルチップ群を有し、前記第 1 ノズルチップ群と前記第 2 ノズルチップ群は前記第 1 方向においてずれて配置され、かつ隣接する前記第 1 ノズルチップと前記第 2 ノズルチップは前記第 2 方向において所定量ずれて配置された記録ヘッドと、を備える記録装置において、前記第 1 ノズルチップからインクを吸引するための第 1 吸引手段と、前記第 2 ノズルチップからインクを吸引するための第 2 吸引手段を有し、前記第 2 方向に移動する吸引ホルダを備え、前記第 1 吸引手段と前記第 2 吸引手段は前記第 2 方向において前記所定量ずれて前記吸引ホルダに設けられていることを特徴とする。